

# 都市再生整備計画 事後評価シート

宇都宮都市拠点地区  
(地方再生コンパクトシティ)

令和6年3月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	宇都宮市		地区名	宇都宮都市拠点地区(地方再生コンパクトシティ)			面積	1,116ha		
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	4944.3百万円	国費率	0.49				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(オリオン市民広場機能向上事業、宇都宮駅東口地区整備事業(駐輪場等))、高質空間形成施設(市道2路線)										
		提案事業	地域創造支援事業(居住促進事業、魅力ある景観づくり事業、中心商業地出店等促進事業、都市機能誘導施設立地促進事業、企業立地促進事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—										
		提案事業	地域創造支援事業(魅力ある景観づくり事業)	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業	基幹事業	公園(2箇所)、地域生活基盤施設(宇都宮駅東口地区整備事業(交流広場、案内看板))、高質空間形成施設(宇都宮駅東口地区整備事業(歩道整備))、高次都市施設(宇都宮駅東口地区整備事業(地域交流センター))、エリア価値向上整備事業(実証実験(シェアサイクル))	景観形成重点地区における既存不適格の解消等を行う場合の整備費の一部を補助するものであるが、事業実施には至らなかったため事業削除			影響なし			公園:指標5を追加 宇都宮駅東口地区整備事業:指標6を追加 実証実験:影響なし			
		提案事業	地域創造支援事業(宇都宮駅西口周辺地区整備検討調査事業、宇都宮駅東口地区整備事業、河川改修事業(2河川))	都市拠点として広域的な交流や賑わいを創出するとともに、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる都市環境の形成のため追加			指標6を追加			宇都宮駅西口周辺地区整備検討調査事業:影響なし 宇都宮駅東口地区整備事業:指標6を追加 河川改修事業:影響なし			
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和2年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	平成30年度～令和4年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	空き店舗数	店舗	41	H29	36	R4		16	○	あり なし	地域生活基盤施設等の整備による人の往來の増加や中心商業地の出店促進補助による店舗数の増加など空き店舗数の減少に寄与している。	—
	指標2	都市拠点の地価上昇率	%	—	H29	106.7	R4		109.7	○	あり なし	地域生活基盤施設等の整備や商業・オフィス、医療等の都市機能の集積などにより、都市拠点の地価の上昇に寄与している。	—
	指標3	歩行者・自転車通行量	人/日	24,780	H29	25,906	R4		25,915	○	あり なし	地域生活基盤施設等の整備やオープンカフェの実施などにより、中心商業地の人の往來の増加に寄与している。	—
	指標4	オリオン市民広場の集客数	人/年	254,630	H29	280,000	R4		73,660	△	あり○ なし	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標を達成することはできなかった。感染症法に基づく位置づけの変更に伴い、現在は、イベントなどの活用が増加し、集客数は回復傾向にある。	R7年3月
	指標5	地区公園及び近隣公園の利用可能人数	人	50,894	H29	54,970	R4		54,067	△	あり なし○	公園が利用可能となる地域は拡大したものの、人口減少が進んだため、目標を達成することはできなかった。フォローアップとして、市民が身近に利用できる公園の圏域を指標とする「その他の数値指標1(地区公園及び近隣公園の利用範囲)」を新たに設定した。	その他の数値指標1によりフォローアップ
指標6	東西自由通路歩行者・自転車通行量	人/日	14,143	R1	16,001	R4		17,683	○	あり なし	高次都市施設の整備などにより、宇都宮駅周辺の人の往來の増加に寄与している。	—	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	地区公園及び近隣公園の利用範囲	%	52.7	H29			62.8					・水上公園の整備により、災害時における一時避難場所として指定し、地域の防災性の向上に繋がった。	—
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリオン市民広場・宇都宮駅東口地区における地域生活基盤施設やユニオン通り・宮島町通り(通称:餃子通り)における高質空間形成施設など、都市拠点としての基盤整備により、持続可能なまちづくりの土台となる「NCC」の形成に繋がっている。</li> <li>・これらの基盤整備により、オリオン市民広場、ユニオン通り、宮島町通り(通称:餃子通り)における賑わいの創出や、宇都宮駅東口地区(地域交流センター・交流広場)のマロニエ建築賞の受賞など、良好な都市環境の形成に繋がっている。</li> <li>・また、水上公園における災害発生時の一時避難所の指定や、宇都宮駅東口地区における災害発生時の帰宅困難者の一時的な受け入れなど、地域防災の強化に繋がっている。</li> <li>・さらに、都市拠点の基盤整備と合わせ、中心商業地出店等促進事業(出店経費補助)や都市機能誘導施設立地促進事業・企業立地促進事業などの支援により、高次な都市機能の集約及び雇用が創出されるとともに、居住促進事業(住宅取得・家賃補助)による居住の誘導が図られるなど、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができる「スーパースマートシティ」の実現に繋がっている。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					
	官民連携による取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設オープンカフェ(休憩施設等)の設置による賑わいの創出</li> <li>・シェアサイクル実証実験の運営、サイクルボートの設置支援</li> <li>・災害発生時における帰宅困難者の一時受入の体制構築による防災機能の強化</li> </ul>		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	・オープンカフェにおいては、賑わいの創出に大いに寄与する事業であるため、引き続き、オープンカフェを実施する宇都宮まちづくり推進機構や商店街への支援を行う。				
		—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●	・シェアサイクルにおいては、中心市街地の端末交通や移動手段としての有効性について検証するため、継続して実証実験を実施するとともに、民間主体による事業の運営等の課題の整理を行う。				
—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・宇都宮駅東口地区における帰宅困難者の一時的な受け入れ体制について、引き続き、施設管理者等との連携・強化を図る。						
持続的なまちづくり体制の構築	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—						



# 様式2-2 地区の概要

## 宇都宮市都市拠点地区(栃木県宇都宮市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<b>大目標</b> LRT整備を見据えた「ネットワーク型コンパクトシティ」の核としての都市拠点の形成 目標1 都市拠点として、広域的な交流や賑わいを創出する。 目標2 子どもから高齢者まで誰もが安心して快適に暮らせる、都市環境を形成する。 目標3 本市の中核性や存在感の向上につながる高次な都市機能を集積する。 目標4 防災機能強化により、災害に強い市街地を形成する。	空き店舗数	単位:店舗 41	H29 36	R4 16
	都市拠点の地価上昇率	単位:% —	H29 106.7	R4 109.7
	歩行者・自転車通行量	単位:人/日 24,780	H29 25,906	R4 25,915
	オリオン市民広場の集客数	単位:人/年 254,630	H29 280,000	R4 73,660
	地区公園及び近隣公園の利用可能人数	単位:人 50,894	H29 54,970	R4 54,067
	東西自由通路 歩行者・自転車通行量	単位:人/日 14,143	R1 16,001	R4 17,683

**■基幹事業 エリア価値向上整備事業 実証実験(シェアサイクル)**

**○関連事業: 防災安全 (八幡山公園急傾斜地の整備)**

**□提案事業(地域創造支援事業)**  
 企業立地促進事業 事業内容:都市機能誘導区域に立地した企業に対する補助  
 中心商業地出店等促進事業 事業内容:出店に係る経費の補助  
 居住促進事業 事業内容:住宅取得補助, 住宅家賃補助

**□提案事業(地域創造支援事業)**  
 河川改修事業(普通河川陽北水路)

**■基幹事業 高質空間形成施設 市道3号線(ユニオン通り)**

**■基幹事業 公園 水上公園, にしき西児童公園**

**■基幹事業 高質空間形成施設 市道886号線(宮島町通り)**

**■基幹事業 地域生活基盤施設 オリオン市民広場機能向上事業**

**○関連事業**  
 事業主体:民間(NPO法人)  
 オープンカフェの実施, まちづくり活動拠点リニューアル事業, 釜川活用事業  
 事業主体:宇都宮市  
 賑わい効果測定事業, まちなか整備アドバイザーの派遣,  
 民間主体による土地の有効活用の促進事業, 都市公園事業

**○協定制度(オープンカフェ)**  
 道路占用許可の特例を活用する予定区域  
 1136号線(オリオン通り), 市道3号線における  
 休憩施設等

**□提案事業(地域創造支援事業) 宇都宮駅西口周辺地区整備検討調査事業**  
 事業内容:駅前広場再整備に係る基礎調査等

**□提案事業(地域創造支援事業) 河川改修事業(普通河川高橋川)**

**■基幹事業 地域生活基盤施設 宇都宮駅東口地区整備事業(駐輪場)**  
**■基幹事業 地域生活基盤施設 宇都宮駅東口地区整備事業(交流広場)**  
**■基幹事業 地域生活基盤施設 宇都宮駅東口地区整備事業(案内看板)**  
**■基幹事業 高質空間形成施設 宇都宮駅東口地区整備事業(歩道整備)**  
**■基幹事業 高次都市施設 宇都宮駅東口地区整備事業(地域交流センター)**

**□提案事業(地域創造支援事業) 宇都宮駅東口地区整備事業**  
 事業内容:備蓄倉庫等

**□提案事業(地域創造支援事業) 都市機能誘導施設立地促進事業**  
 事業内容:医療等の立地誘導施設を整備した際の施設整備費に対する補助

**凡例**  
 ■基幹事業 (黒)  
 □提案事業 (白)  
 ○関連事業 (点線)  
 ■都市機能誘導区域 (黄)  
 ■都市再生整備計画区域 (赤)

**まちの課題の変化**

- ・高次都市施設や地域生活基盤施設等の整備に加え、官民が連携したオープンカフェの実施による人の滞在しやすい空間づくりにより、広域的な交流や賑わいの創出が図られている。
- ・高次都市施設や地域生活基盤施設、高質空間形成施設の整備等により、子どもから高齢者まで誰もが安心して快適に暮らせる都市環境の形成が図られている。
- ・高次都市施設の整備や立地促進事業の支援による高度専門病院の導入など、高次な都市機能の集積・強化が図られている。
- ・水上公園における災害発生時の一時避難所の指定や八幡山における急傾斜地の整備、宇都宮駅東口地区における災害発生時の帰宅困難者の一時的な受け入れなど、都市の防災機能の強化が図られている。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・宇都宮駅東口地区やオリオン市民広場、水上公園などにおける継続的な利活用を促進するため、地元主体の定期的なイベントの開催など、利用しやすい環境づくりに取り組む。
- ・駅東側のライトラインの開業により、駅西側への早期延伸への期待や大通り沿線における市街地再開発事業等の民間開発の動きも活発化するなど、市民や事業者の機運が高まっており、この状況を好機と捉え、NCCをけん引する都市拠点の形成に向け、市民・事業者と一体となってまちづくりを推進する。
- ・引き続き、高次な都市機能などを集積した都市拠点や市民の日常生活を支える地域拠点を形成し、その利便性が共有・利活用できるよう、各拠点間を公共交通ネットワークで結ぶ、本市が目指すNCCの形成に向け、社会資本整備総合計画などに基づき、都市機能の集積や公共交通の充実などに取り組んでいく。